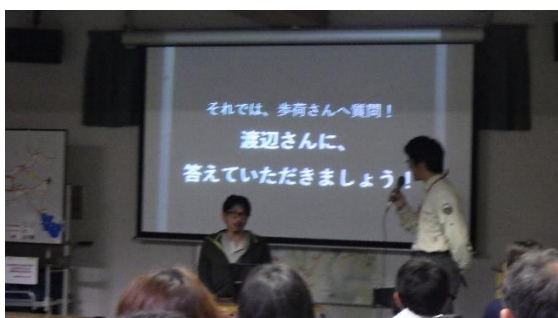


タイトル:「尾瀬の大切な歩荷さん」 イベントアンケートへのお答え

内容:

7月14日に「尾瀬の大切な歩荷さん」という現役の歩荷さんをお招きしたイベントを行いました。また、イベントを行うにあたり、「歩荷さんに聞いてみたいことはありますか？」というアンケートを実施しました。ここでは、アンケートの中から歩荷さんに答えていただいた内容を公開します。アンケートにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



—歩荷の渡部さんに答えていただきました—

① どうして歩荷になったのですか？

渡部さん: 以前鳩待山荘で働いていたのですが、鳩待山荘は歩荷が荷造りする場所になっているんです。そこで仲良くなった歩荷がいて、鳩待山荘で働き始めて3年目の時に「歩荷をやってみないか？」って声をかけてもらったのがきっかけです。

② 普段どのくらいご飯を食べているのですか？ 力が出る食べ物は何ですか？

おいしいご飯は何ですか？

渡部さん: そんなにご飯は食べないほうだと思います。バランスの摂れた食事が大切ですね。あとは力が出る炭水化物、ご飯とかパスタとかを食べます。

③ 大雨の時も歩きますか？

渡部さん: 台風の際は天気予報で事前に分かるので山小屋に連絡してお休みにしてもらっていますが、なるべく雨でも運ぶようにしています。

④ 重くないのですか？ 背負いづらくないですか？

渡部さん: 重いですね。でも、実は最初から70kgとか80kgを背負っているわけではありません。(尾瀬のシーズンが始まる)春先は20kgくらいから慣らしていきます。だんだん慣れてきて今くらいの時期になると70~80kgくらい、それほど重いとは感じなくなります。

⑤最高何 kg まで背負ったことがありますか？

渡部さん: 30 代のころは 140kg くらいまで背負っていました。

⑥100kg 運ぶといくらもらえますか？

渡部さん: 山小屋までの距離によって変わりますが、鳩待峠から一番近い山ノ鼻地区だと 1kg85 円で 8,500 円、見晴地区だと 1kg165 円で 16,500 円、一番遠い元湯山荘だと 1kg180 円で 18,000 円になります。

⑦何歳くらいまで歩荷ができる体力が続きそうですか？

渡部さん: 前は地元の片品村のおじちゃん、おばちゃんも歩荷をしていて、そのときは 70 歳過ぎの人もありました。60kg くらいは背負っていたかな。無理をしなければ続けられる仕事だと思います。

⑧これまでの歩荷さんの最年長・最年少の年齢は？

渡部さん: ⑦番の話にあったように 70 歳が最年長の年齢ですね。最年少は以前は地元の高校生もやっていたので、その子が最年少ですかね。

⑨肩こり・腰痛にならないための工夫はありますか？

渡部さん: 肩は基本的にこらないですね。家に帰ってストレッチやアイシングをしています。とにかく次の日に疲れを残さないことが大切です。

⑩おこじよを見ましたか？

渡部さん: おこじよは毎年じゃないけど見えていますね。竜宮付近でも出ることがあるみたいですが、特に鳩待峠～山ノ鼻の間で目撃することが多いです。ヤマネも過去に山ノ鼻地区で 1 度だけ見たことがあります。実は、尾瀬の麓の片品村にもいます。

⑪ツキノワグマに出会った時はどうやって身を守るのですか？

渡部さん: 無視をして、というか特に反応もせず写真も撮らないようにします。

⑫今は幸せですか？

渡部さん: そうですね。私生活も仕事も幸せです。仕事は楽しくやらせてもらっています。

⑬冬は何をして過ごしますか？何月から歩荷の仕事を行って、いつまで歩荷の仕事をするのでしょうか？冬の間筋力が落ちてしまったりしないのですか？

渡部さん: 早い人はゴールデンウィーク中からやっています。ゴールデンウィーク明けにはみんなそろって歩荷の仕事をはじめて、10 月 20 日前後には山小屋が閉まるのでそ

れくらいまでで歩荷の仕事は終わります。

冬は川場村というところで日本酒を造っています。(日本酒を造ったりしているの
で)冬は全く動いていないわけではないからそんなに筋力は落ちないと思います。

以上が歩荷さんに答えていただいた内容です。

歩荷さんの意外な一面も見えたこのイベント、歩荷さんへの「感謝」や「尊敬」がより一層強まる
ものとなりました。イベントに参加された方、そしてトークイベントを快く引き受けて下さった歩荷
の渡部努さん、本当にありがとうございました。

群馬県山の鼻ビジターセンター